

はんぐんレポート

82・11/10  
No. 43

陸<sup>じゆ</sup>初!

11・14 東富士

# 日米共同演習粉碎現地集会へ

※初の陸上実動演習

昨年来、日米の共同演習が急速にエスカレート、実戦化する中で、来る11月16日から18日にかけて、日米陸軍が、東富士演習場で初の実動演習を行う。この訓練に参加する米第9師団の歩兵大隊は7月に米軍駐留撤退後、初めて完全武装で厚木基地に到着している。これまでのタブーを破って強行されようとしているこの実動演習は、着々と進められている日米共同の侵略体制の完成のメルクマールであり、これを許せば、今後は日米共同の三軍統合実動演習の実施という実戦への総仕上げに直結することは明らかである。

※実戦化した日米共同演習

今年に入ってからの日米共同演習の概要を見てみよう。

海上自衛隊は3・4月にリムパック82に参加し対潜訓練、米軍の強襲上陸訓練などの訓練を行い、8月には朝鮮「有事」の際、日本海ソ連軍の撲滅をねらった米第7艦隊との大演習が日本海で行われている。航空自衛隊は今年だけすでに8回の共同訓

練を行っているが、9月には初めてB52と電子戦訓練を行った。

海・空に比べて「立ち遅れていた」陸の共同演習であるが、昨年10月初めての通信訓練を行ったのを皮切りに、今年に入って「山桜」と称する指揮所演習を2度に渡って行い、今回の実動演習へとつなげているのである。



米本土からチャーター機で厚木基地に着いた日米共同演習に参加する米陸軍部隊 二七日、神奈川県大和市

※11・14 現地集会へ！

今や日米共同演習は、かつての日本側の技量向上のための訓練でなく、来るべき朝鮮半島の「有事」に対して朝鮮民族蜂起の鎮圧、それを遂行するための障害となる極東・連軍の「封じ込め」をねらった

極めて具体的、実戦的なものになっている。またこのような侵略の具体化は、極東有事研究＝自衛隊法等関連諸法令の全面的改悪＝国家総動員体制の確立の具体化となって我々日本の民衆に対する治安弾圧へと直結することはあまりにも明白である。今すぐ反撃せねばならない。11・14 現地東富士での阻止集会へ結集しよう！

#10・31 伊丹自衛隊記念式典抗議行動貫徹！

さる10月31日我々「反軍フォーラム」は「つぶせ！自衛隊記念式典・関西共同行動」に参加し、兵庫・大阪・京都の80名の仲間と共に「記念式典」行事に対する抗議行動を行った。基地正門前での権力＝機動隊の不当な弾圧、自衛隊・警務隊の防害右翼の挑発にもメゲず、整然とした抗議行動を行い、伊丹住民に対し、自衛隊の地域渗透作戦である「式典」のねらいを暴露した。

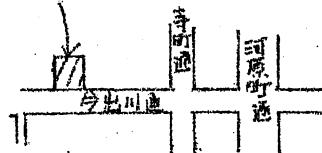
京都市西陣郵便局私書箱81号

反軍フォーラム

## 反軍セミナー(第一期) 開講の御案内

戦争の危機が近づいている今ほど、私達民衆の一貫した反戦の論理が求められている時はありません。私達「反軍フォーラム」は以下の要領でそのための連続学習会を行います。これまでの一方通行的なものではなく、参加者の間で討論を深めたいと思います。各分科会はそれぞれ独立しています。興味のあるテーマにふるって御参加下さい。

(場所) ほんやら洞2F (寺町今出川西入る) (日時) 毎回18時半から、日程は下表参照



第一水、第二木、第三土の  
ように分科会ごとに3週間ごとの  
ローテーション。ややこしいので  
御注意下さい。

	テマ	テキスト	日時	備考
第一分科会	民衆の「国防論」を考える	中江兆民「三醉人経倫問答」(岩波文庫)	11月3日 11月24日…	他に参考書いくつか使います。
第二分科会	平和思想と抵抗権	「平和思想史」憲法研究所編(法律文化社)	11月11日 12月2日…	テキスト絶版、コピーで配布します。
第三分科会	反弾圧の基礎知識	随時コピーで配布	11月20日 12月11日…	「権力と闘うための法律知識」(三一新書)などを使います。

### ◎第1分科会 テマ：民衆のための「国防論」を考える

—中江兆民「三醉人経倫問答」を読む—

一たび酔えば、古今東西の政治を縦横に論じ止まることを知らぬ論客南海先生の所へ、民主主義の熱烈な崇拝者で国家の非武装を唱える「紳士」君と、パワー・ボリティクスを奉じ大陸侵攻・軍備増強を主張する「豪傑」君が乗り込んできた。この三人が酒をくみ交しながら、三つともえの「国防論」を開幕する。……というのがテキスト「三醉人経倫問答」の内容です。95年前に書かれたこの本は今なお、その根本的な問題提起によって日本人の手による「国防論」の最高傑作と言えると思います。テキストを現代的な立場から読み、現在の日本の軍拡・侵略準備を論理的かつ実践的につき崩す新たな民衆のための反軍理論を構築する手がかりとしたいと思います。

と言ってもそんなに固苦しくやる訳でなく、「三醉人」にあやかって、酒でも飲みながら談論風発、大いに日本と世界と我々の未来を論じ合おうと思います。専門的知識は必要としません。現状に憤り変革を志す方なら誰でも御参加下さい。

### ◎第2分科会 テマ：平和思想と抵抗権

「他人の自由を奪おうと望むものは誰でも、ほとんどつねに結局自分の自由を失ってしまう…自由であることを望むものは誰でも征服者になろうと望んではならない」ルソー

「われわれのうちなる道徳的、実践的理性は不可抗的禁令を下していわく、戦争はあるべからず」カント  
古今東西、和漢洋の平和思想と人民の抵抗権の歴史について学んでいきます。第一回はルソーとカントを中心にして18世紀啓蒙主義の時代の平和思想をとりあげます。原典にも触れながら、これらの思想の現代的な意味を討論しあって行きたいと思います。この分科会の最終的目標は、参加者それが自前の思想をつくっていくことにおきます。

### ◎第3分科会 テマ：反弾圧の基礎知識

最近警察による人権侵害、政治的弾圧がひんぱんに行われています。「交通安全」とか「犯罪、非行の防止」などを口実に、我々の日常生活のあらゆる面に警察=国家権力が口をはさんでくるようになりました。このような弾圧政策の背景には、現在ひそかに進められている国家総動員体制=国民統合を「合法的」に補完するネライがあります。このような弾圧に対して反撃するにはあまりにも知識がない様に思われます。様々な弾圧に対して不当な介入を許さないための基本的なノウハウを学びます。国家総動員体制の現段階についても理解を含めたいと思います。